「今までと同じフィールドで生きていたい」 パーキンソン病当事者による就業支援のための 映画製作を開始

拝啓 梅雨の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度パーキンソン病(PD)就労促進プロジェクト実行委員会(事務局:株式会社SmileSpace内)は、障害や難病を抱える人達の就業支援を目的とした映画製作が決定しましたのでお知らせします。

作品は、難病や障害を抱える人達が孤立しない社会を目指す、というプロジェクトの目標の下、当プロジェクト 代表である松野幹孝が、パーキンソン病を発病しながら会社勤務を行った経験を基に原案を執筆。監督・脚本・原 作は古新舜氏、共同脚本として野間美智子氏を起用。プロジェクトメンバーは監修として参画します。パーキンソ ン病という難病を抱えながらも家庭、職場、社会という、発病前と変わらぬフィールドで生きていきたいという想 いと、当事者ならではの視点による、症状や病気を受け入れるまでの葛藤をショートフィルムを通じて伝えます。

完成した作品は、自主上映会等により、パーキンソン病をはじめとする神経難病当事者や、障害者の就業支援及 び理解促進のために活用していく予定です。

映画製作においては、費用をクラウドファンディングにて募ります。

より多くの方に、パーキンソン病へのご理解と当プロジェクトへのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

●プロフィール

監督・脚本・原作 古新 舜(こにいしゅん):映画監督・ストーリーエデュケーター

「Give Life to Your Story! 一物語を動かそう! 一」をテーマに、映画と教育の融合を通じて、大人と子どもの自己肯定感を共に引き出していく共育活動を行なっている。

米国アカデミー賞公認映画祭ショートショートフィルムフェスティバル2年連続入選、山形国際ムービーフェスティバル「部門最高賞」「船越英一郎賞」W受賞、長岡インディーズムービーコンペティション「グランプリ」受賞、いばらきショートフィルム大賞「奨励賞」など、過去の作品でのベ40以上の映画祭で受賞・ノミネートを果たしている。

最新作となる長編映画「あまのがわ」は、不登校の女子高生が分身ロボット"OriHime"と共に、屋久島・鹿児島を旅する物語。2019年、第31回東京国際映画祭「特別招待作品」として選定され、ロサンゼルスJFFLAにて「最優秀脚本賞」を受賞する。

共同脚本 野間美智子(のまみちこ):小説家・脚本家

幼少のころからマンガや小説を書き始め、2004年にアニメ脚本家としてデビュー。

『幻影ヲ駆ケル太陽』 『とある科学の超電磁砲』 『ログ・ホライズン』などの200本近くのアニメ脚本や、ノベライズ 『食戟のソーマ』など数々の作品を手がける。

2015年、『さくら×ドロップ』で第一回小学館ジュニア文庫小説賞・大賞を受賞。

「子ども達にものがたりを作る楽しみを知ってもらいたい」と思いから、「空飛ぶものがたり教室」を不定期で開催している。

●パーキンソン病(PD)とは

イギリスの医師ジェームズ・パーキンソンが1817年に発見。脳内の神経伝達物質であるドパミンが、何らかの原因により減少する神経変性疾患であり、現状では原因及び完治する方法は発見されていない。発症のピークは60代とされるが稀に40歳以下の若い年代でも発症する。

問合せ先 パーキンソン病就労促進プロジェクト実行委員会 東京都世田谷区宮坂1-21-20 株式会社SmileSpace 内 pd.mfw.pj@gmail.com https://pdmfwpj.wixsite.com/pd-mfw-pj